



No.51
 特定非営利活動法人(NPO法人)
 建築ネットワークセンター
 〒162-0042
 東京都新宿区早稲田町74 鱒淵ビル301
 TEL 03-6457-3178 FAX 03-6457-3179

人生100年
長生きを喜べる社会保障政策が急務
目指すべきは安心できる長寿社会
 副理事長 鐘ヶ江正志



1. 100

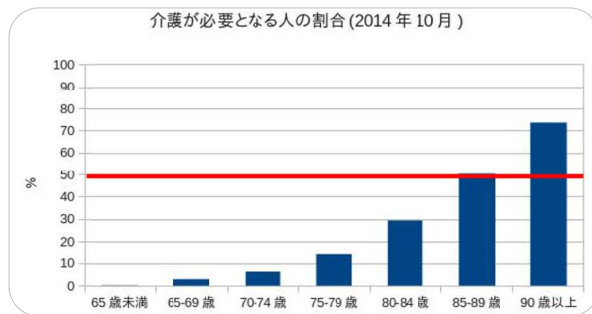
リンダ・グラットン教授が、2007年生まれの子供の50%が到達されると期待される年齢は107才で多くの人が100才まで生きる時代がくるとし”人生100年時代”が一気に広まりました。

さらに教授は、人はどういった戦略でこれからの長い人生に立ち向かわなければならないのかと投げかけ、これまでの「教育→仕事→引退」という3つのステージを見直し、ポートフォリオ・ワーカーとして異なる活動を同時並行で行うことが必要な時代だと問題提起をしています。

また国連は、「長寿は、人類の夢の実現であり、高齢者は、過去と現在、そして未来を結ぶ仲介者であり、その知恵と経験は、社会にとってかけがえのない宝です。」と報告しています。

いま日本は、世界一の長寿国となり、1100万人が80才以上を迎え、100才以上が7万人です。

本来日本は、喜びに満ちているはずですが、現実にはそうなっていません。なぜなら国の社会保障

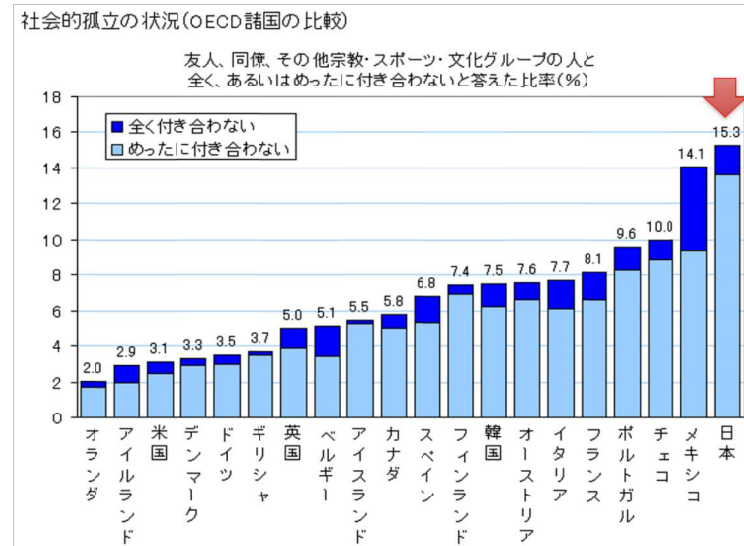


政策が、公的責任を捨て自己責任へと転換させているからです。

ある保険会社の調査によると、「長生きしたくない」回答が41%と衝撃的です。

「老後に不安を感じる」人が81.7%、要因は「お金」が最も多く、20代の27.1%が「年金を「全くもらえないと思う」と回答しています。

また高齢者自身も、健康・医療・介護、住まいやくらしの将来を見通せない不安をかかえています。いつまでも続く「老後不安」が多くの高齢者



の困りごとです。

国民の不安を無くし、安心できる長寿社会にするため、憲法25条や国際的規範に沿ったものへ抜本的転換することが世界の長寿先進国日本の進むべき道です。

「老いる」ということは、機能が一つひとつもぎ取られて行くこと、だからこそ社会の中で協力しながら生きていく。そして楽しく、しぶとく、嫌われず、詐欺にも合わず社会とつながりをもちな

補聴器の上手な使い方
 “早く” “長く” がおすすめ

がら..そんな生き方をしたいものです。

「みみの会」 秋葉尚子さん
 聴力は老いの過程で衰え失われていく機能の一つです。高齢期難聴者の集まり「みみの会」(正式名称は「聴こえづらさをともに考える会」)で活動する秋葉尚子さんに、補聴器の選び方、使い方をアドバイスしてもらいました。

難聴者同士、お互いが感じる生きづらさを出し合い慰めあっていた時に、ある政党の演説会で「磁気ループ」を知りました。磁気ループとは、周

囲の騒音やざわめきを排除して、マイクからの音声クリアにその人の耳に伝わるよう開発された装置です。まさに福音でした。ここでの経験が「みみの会」発足のきっかけとなりました。最初に取り組んだのが「区議会本会議場に磁気ループの設置を」という陳情でした。陳情は採択され、委員会室でもループによる傍聴が可能になり「もっと知りたい、聴こえたい」願いは大きく前進しました。

聴こえづらさは、ころびやすくなったり、見えづらくなったりするのと同じように、年を取れば現れるごく普通の

現象です。聴こえないから我慢しておこうという自分自身の中にもある壁は取っ払い、みんなの中で、笑顔で、この願いをもっと広げていきたいと思えます。

辛抱強いトレーニングが必要

補聴器は、つけたらその場で完結というものではありません。高齢期難聴は本人が気づかない間に聴こえなくなっていたというケースがほとんどです。いよいよ不便になって補聴器をと耳にあてたときには、数年かけて聴こえなくなっていた小鳥の声、風の音やざわめきなどが全部まとめて一気に耳に入ってくるので、多くの方が「これはダメだ、補聴器が合わない」と悲鳴を上げます。

人は本来雑多な音と聴きたい音をより分ける能力を持っています。補聴器を初めてあてたときに感じるうるさい音は、健聴者(健康な人)にも普通に届いているはずの音なのです。合わないのは補聴器ではなく耳の方なのかもしれません。補聴器は、つけている時間や聴きづらい音を調節しながら辛抱強く慣らしていくいわゆるトレーニングの作業が必要になります。音は耳で聞く? いいえ、脳で聴くのです。脳に信号を送ることで新しい刺激を与え脳を活性化することで聴きたい音を選べるようになるのですから。

「補聴器をつけるのは早い方がいい。つける時

秋の講演会(新宿区後援)

日時 11月17日(土) 開場: 午後1時30分
開会: 午後2時

会場 大久保地域センター 多目的ホール(4階)
講師 川崎直宏氏 工学博士 市浦ハウジング&プランニング 代表取締役社長

受講ご希望の方は ☎03(6457)3178 建築ネットワークセンター事務局へ